学校番号	1207

令和　５　年度　　指導と評価の年間計画

教科	科目（講座名）	単位数	指導学年	履修の条件
保健体育	体育（　体育③　）	２	３	なし

使用教科書	副読本等
大修館書店　最新高等保健体育　改訂版	なし

準備物・費用等	必修／選択	全員履修	セット	自由選択	授業形態	講義	実技	実習
体操服・柔道着・水着・体育館シューズ		○					○	

１．担当者からのメッセージ（学習方法等）

授業では、スポーツにおける基礎知識や技能の習得を目指します。
また、ルールを理解し他者と協力しながらゲームを楽しみましょう。
いろいろな種目に挑戦し、あきらめずに最後まで取り組みましょう。

２．学習の到達目標

健康、安全についての理解を深め、運動技能を身につけるとともに、体力の向上や健康の保持増進を図り、生涯にわたって運動に親しむ資質を育成する。

３．学習評価（評価規準と評価方法）

観点	ａ：関心・意欲・態度	ｂ：思考・判断	ｃ：運動の技能	ｄ：知識・理解
観点の趣旨	運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるよう、運動の合理的、計画的な実践に主体的に取り組もうとする。また、個人生活及び社会生活における健康・安全について関心をもち、意欲的に学習に取り組もうとする。	生涯にわたる豊かなスポーツライフの実現を目指して、自己や仲間の課題に応じた運動の取り組み方や健康の保持及び体力を高めるための運動の計画を工夫している。また、個人生活及び社会生活における健康・安全について、課題の解決を目指して考え、判断し、それらを表している。	運動の合理的な実践を通して、運動の特性に応じた段階的な技能を身に付けている。	運動の合理的、計画的な実践に関する具体的な事項及び生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続するための理論について理解している。また、個人生活及び社会生活における健康・安全について、課題の解決に役立つ基礎的な事項を理解している。
評価方法	出席状況や授業態度、服装など	技能の習熟度	技能テスト（客観的・主観的）	取り組む姿勢や意欲

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

４．学習の活動

月	単元（題材）	学習内容	主な評価の観点				単元（題材）の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
4月 ～ 5月 中旬	体つくり運動	集団行動 スポーツテスト ラジオ体操	○ ○ ○	 ○	 ○ 	○ ○	a、課題に対して仲間と積極的に取り組めている。 b、グループ内で計画を立てて練習を行い、工夫して行えているか。 c、基本的な技能を修得できているか。 d、課題に積極的に取り組めている。	技能テスト
5月 下旬 ～ 7月	バレー 水泳	レシーブ、サーブ練習 ゲーム バタフライ 100mメドレー	○ 	 	○ ○ 	 ○ 	a、仲間と積極的に課題に取り組んでいるか。 c、アンダーハンドパス等の基本的な技能をゲーム内で実践できている。 c、4泳法を使い、メドレーにてタイム目標をクリアできる。 d、水泳をする際の危険性を理解している。（急に飛び込まない等）	技能テスト 技能テスト
8月 下旬 ～ 10月 上旬	ソフトボール	攻撃練習、守備練習、ゲーム	○		○		a、ゲームをする際、ルールにのっとっているか。 c、攻撃、守備など基本的な技能を身に付けている。	技能テスト
10月 中旬 ～ 12月	柔道 ダンス ハンドボール	座礼や連絡技 パスゲーム、ゲーム	○ ○ ○		○ ○ ○		a、課題に対して仲間と積極的に取り組めている c、受身など基本的な技能を修得している。 d、基本的な礼儀などを理解しているか。 a、仲間と積極的に課題に取り組めている。 c、基本的な技能を修得している。 a、仲間と積極的に課題に取り組めている。 c、相手のいないスペースに走りこみパスを出したりするなどパス中心にゲームを取り組む。	技能テスト 技能テスト 技能テスト
1月 ～ 2月	持久走 体育理論	タイムトライアル3キロ程度 豊かなスポーツライフの設計の仕方について	○ ○	○ ○	○ 	 ○	a、自分で目標を立て、それに向かって取り組む。 b、計画的に準備を行いタイムを向上させるための工夫をしている。 c、仲間と競い合い、タイムを縮めることができる。 a、課題に積極的に取り組めているか b、自ら豊かなスポーツライフを設計できているか d、豊かなスポーツライフの設計の仕方について理解できているか	技能テスト